



Monthly YSFH News (Electronic version)

発行:横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL:045-511-3654 FAX:045-511-3644

HP:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/>

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな佳き初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は本校の教育活動にご協力をいただき厚く感謝を申し上げます。本年もどうかよろしくご指導をいただきますようお願い申し上げます。

さて、冬季休業も終わり学校に生徒たちが戻ってまいりました。1月7日の始業式では『自分に厳しく』と訓示を受け、決意を秘めた凛々しい顔がみられました。1月7日～12日まで、「米国トーマスジェファーソン高等学校サイエンス研修」に5名の生徒を派遣しました。筑波大学附属駒場高等学校、市川学園市川高等学校の生徒とともにワシントン郊外にあるトーマスジェファーソン高等学校との交流などを行いました。

3年次生は、これから高校生活最大の試練が待ち構えています。次のステップをめざして、強い意志で頑張ってもらいたいと思います。

【平成24年度神奈川県高等学校英語スピーチコンテスト】(10月28日)



本校2年次の今井晃司さんが参加しました。本コンテストは全て英語で行われ、録音による予選を通過した者が、本選にてスピーチを行うことができます。今井さんは、「海外での滞在経験が6か月を超えない生徒を対象にした一般部門」にて「**多職種連携の重要性**」というテーマでスピーチを行い、白衣を着ることで本校らしさをアピールしました。自身の将来の夢である医師の話から、多職種連携によって作られてきた医学の成り立ちについての話、さらに医学が抱えている問題、原発事故、未来に起こりうる解決困難な問題等にも言及し、解決方法を提案しました。

英語による実践的コミュニケーション能力の向上につながるコンテストでした。

【東京大学総長講演会】(11月17日)

神奈川県銀杏会主催の「東京大学総長講演会」が行われ、本校生徒5名が参加させていただきました。

当日は東京大学総長の濱田純一先生が「よりグローバルに、よりタフに」という演題で講演され、その後「世界で活躍できる国際人材の育成」というテーマで濱田純一先生と黒岩祐治神奈川県知事との対談が行われました。本校生徒たちには全体をとおして濱田純一先生に質問する機会を与えていただき、限られた時間の中で非常に丁寧に答えていただきました。



【第6回 ヨットのテクノロジー～模型船による模擬レースとセーリング体験～】(11月18日)



早稲田 卓爾先生(東京大学大学院新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻准教授)にお誘いいただいたもので、本校生徒6名が参加させていただきました。午前には「講演」及び「パワーボートによる東京湾クルージング」が行われ、午後は「模型船による模擬レース」及び「懇親会」が行われました。千葉県立千葉東高等学校の生徒も7名参加しており、生徒たちは楽しく交流することが出来ました。

【科学技術顧問会議】(11月22日)

スーパーアドバイザー、科学技術顧問の方々をお招きし、「科学技術顧問会議」を年に1度開催しています。小島謙一特別科学技術顧問に司会を務めていただき、1年間のサイエンス教育の報告や、今後のサイエンス教育に向けての意見交換等を行いました。30名という多くの方にご参加いただき、非常に有意義な会議とすることができました。

また、生徒からは、手書きのクリスマスカードや2013年YSFHオリジナルカレンダーをお贈りしました。

いただきました貴重なご意見は、今後の教育活動に役立てていきます。



【第8回後期和田サロン】（12月13日）



「ロゼッタ・ストーン～エジプト文明を明らかにした暗号解読～」というテーマで、まずは「生命誕生からの約40億年という時間を1,000kmとすると、人間の寿命約80年は2cmになる」という興味深いお話をしていただき、その後「ピラミッド」や「ロゼッタストーン」について写真を見ながらご説明いただきました。「ヒエログリフの解読」と「DNAの化学的・生物的・物理的性質」を比較し「“分からない部分は似ているものから推測すると解読できる”という点でよく似ている」とご説明いただきました。

【第2回海城高等学校&YSFH 数学交流会】（12月15日）

海城高等学校にて、「**第2回海城高等学校&YSFH数学交流会**」が行われました。11月に本校で行われた「第1回交流会」の続編で、今回は海城高等学校の生徒のみなさんによる【研究発表】と【ガロア理論のゼミナール】を開催していただきました。

海城高等学校の生徒のみなさんの知識や研究意欲の高さには、交流を深めるほど圧倒されてしまいます。知識量や考察の深さ、それに加えて謙虚さも持って取り組む姿は、大いに見習いたいものです。交流させていただいて本当にありがたく思います。



【サタデーサイエンス～バイオを工学する～】（12月15日）



大島まり先生（東京大学大学院情報学環 教授、生産技術研究所 教授）にご来校いただき、講義をしていただきました。テーマは「バイオを工学する」であり、「血液循環系の数値シミュレーションと可視化計測」をご説明いただきました。「シミュレーションとは」、「シミュレーションの利点と高度医療への発展」、「シミュレーションは何をやっているのか」など本校生徒にとって非常に関心の高い内容であり、質疑応答の時間では質問者が多すぎて時間が足りなくなる場面もありました。本校生徒の意識の高さを感じられた一日となりました。

【終業式】（12月25日）

「2学期終業式」にて「教科における活動の表彰」、「部活動の表彰」及び「校外での活動の表彰」などを行いました。「World Robot Olympiad ベスト16」などサイエンス的な活動だけでなく、「書道」や「珠算」、「体操競技」など多方面で活躍しています。

2学期終了後すぐに冬期講習が始まり、サイエンス生は忙しい年末を過ごしていました。



【冬期講習】（12月26日-28日）



講座数は1年次12講座、2年次13講座、3年次17講座と多く、内容も例えば数学の場合「難関大学への数学」から「数学I A演習（標準）」など幅広いものです。各講座は工夫された内容となっており、多くの生徒たちが受講しました。そのため校内は冬季休業中とは思えないくらい活気に満ちていました。また、夏期講習に続き、栗原校長が「言葉の力ー標準編」という講座を開きました。「“読むこと”に主眼を置き、“的確に読む”また“読み味わう”学習を進める」という内容で、生徒たちは集中して評論文の読解を進めていました。

●1月、2月の予定●

1月7日: 始業式

2月15日-20日: 第5期生 入学者選抜

1月7日-12日:

2月24日: 天文教室

アメリカ・トーマスジェファーソン高校サイエンス研修

2月28日: 第5期生 入学者選抜 合格発表

1月27日: 化石教室